

2026年5月20日

 東京地下鉄株式会社
 三井住友ファイナンス&リース株式会社
 SMFL 未来パートナーズ株式会社

東京メトロと SMFL グループ、太陽光発電所を活用したバーチャル PPA 契約を締結

東京地下鉄株式会社（代表取締役社長：小坂 彰洋、以下「東京メトロ」）と三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：今枝 哲郎、以下「SMFL」）の戦略子会社、SMFL 未来パートナーズ株式会社（代表取締役社長：上田 明、以下「SMFL 未来パートナーズ」）は、太陽光発電所を活用したバーチャル PPA^{*1} 契約（以下「本契約」）を締結したことをお知らせします。

本契約では、SMFL 未来パートナーズが 100% 出資する特別目的会社（以下「SPC」）が運営する既存の太陽光発電所が、発電することで生み出される環境価値^{*2}（年間約 6,000 万 kWh）を非 FIT 非化石証書^{*3} として、東京メトロへ提供します。これは年間約 2.5 万 t の CO₂ 削減に相当し、東京メトロにおける CO₂ 排出量の約 7.5% にあたります。

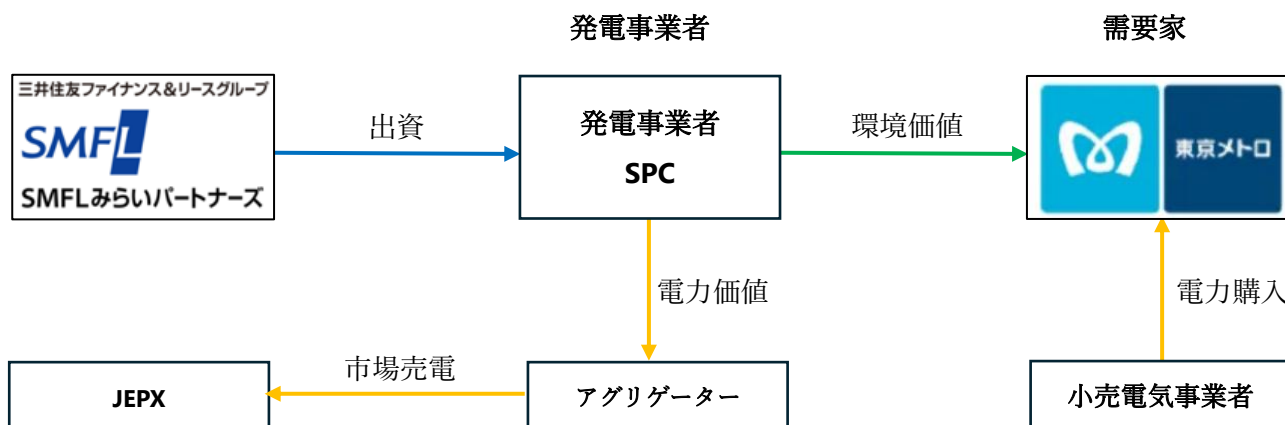
1. バーチャル PPA の概要

オフサイト型コーポレート PPA の一種であり、再生可能エネルギー発電所由来の電力および環境価値のうち、環境価値のみを長期間にわたって取得する契約です。本契約では、太陽光発電所の発電量に応じた環境価値を SMFL 未来パートナーズが出資する SPC から東京メトロが直接調達します。

2. 太陽光発電所の概要

電源種	太陽光
想定発電電力量	約 6,000 万 kWh/年
出資者	SMFL 未来パートナーズ 100%

【スキーム図】



■東京メトロ

東京メトロでは、長期環境目標「メトロ CO₂ゼロ チャレンジ 2050」を設定し、東京メトログループ全事業が排出する CO₂量について、2013 年度比でそれぞれ 2030 年度－53%、2035 年度－60%、2040 年度－73%とし、2050 年度に実質ゼロをめざしています。これまでもエネルギー効率に優れた車両や環境負荷の少ない設備等を導入してきました。今後も目標達成に向けて、再生可能エネルギーの活用をはじめとする多様な手段を用いて「脱炭素・循環型社会」の実現に貢献してまいります。

■SMFL グループ

SMFL グループは、再生可能エネルギーや省エネ機器の設備投資におけるファイナンスサービスや、太陽光・風力・水力・バイオマスなどの再生可能エネルギー事業を通じた CO₂フリー電力の供給、脱炭素に関する補助金支援サービスなどの事業を展開しています。今後も、エネルギーを多量に消費する工場・事業所を持つお客さまの脱炭素経営を支援するため、さまざまなソリューションをワンストップで提供することで、持続可能な社会の実現を目指していきます。

※1 PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）

電力需要家が発電事業者から直接再生可能エネルギーを購入する契約形態のこと。

※2 環境価値

再生可能エネルギーの発電などによって生じる「CO₂が排出されない」という付加価値のこと。

※3 非 FIT 非化石証書

FIT 制度（固定価格買取制度）の適用を受けていない発電設備を有する再生可能エネルギー発電所の環境価値を証書化したもの。

以 上